

科学研究費補助金「生態学的現象学の技術哲学的展開 (EcoTec)」(研究代表者：村田純一)

「生態学的なコミュニケーションと社会的アフォーダンスに関する実証哲学的研究 (EcoCom)」(研究代表者：河野哲也) 主催

科研費研究共同シンポジウム

身体運動

ユニバーサルデザイン

アフォーダンス

日時：2011年12月11日(日) 10:00~19:00

場所：立教大学池袋キャンパス太刀川記念館

看護・ケア・教育の分野における「身体の動きと環境」を共通テーマとして、シンポジウムを開催いたします。提題者には、看護・ケア、教育における身体の動きと環境との関係性について各々の立場から分析していただき、それぞれの分野で、環境と行為者の関係性の良きデザインとは何か、それをどのように作り出していけばよいのかについてご提言いただきます。そして、総合討論の中で、生態心理学と各分野との接点をより詳しく探っていきます。

午前の部 10:00~13:00

「ユニバーサルデザインとアフォーダンス」

野村寿子(株式会社ピーエーエス専務取締役・作業療法士)

「心地よさのかたちを作る：障がいを持つ方の椅子づくりから見えてきたUD」

指定討論者：村口健一(株式会社ピーエーエス代表取締役)

熊谷晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター・特認講師)

「協応構造と不確実性：自由と痛みについて」

川内美彦(東洋大学ライフデザイン学部・教授)「ユニバーサルデザインの理念と実践」

染谷昌義(高千穂大学人間科学部・准教授)「経験とデザインの民主主義」

午後の部 14:00~17:00

「ケアとスポーツの生態心理学」

川原由佳里(日本赤十字看護大学・准教授)「看護技術と間身体性」

谷津裕子(日本赤十字看護大学・教授)「看護におけるアフォーダンスの可能性」

工藤和俊(東京大学総合文化研究科・准教授)「スポーツとリハビリテーションを結ぶ知覚-行為循環」

長滝祥司(中京大学国際教養学部・教授)「フィールドのなかのアフォーダンス」

総合討論：17:15~19:00

連絡先：河野哲也(立教大学文学部教育学科・教授) tetsuyakono@rikkyo.ac.jp